

令和元年度 小平市立小平第一中学校 学校評価計画表

学校教育目標 自立:自ら考え 自ら学ぶ人 協力:互いに思いやり 力を合わせる人 健康:心と体を鍛え たくましく生きる人

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 生徒が毎日楽しく通え力を伸ばせる 教職員が働く喜びと誇りをもてる 保護者が安心・信頼を持って子どもを通わせられる 地域が力を合わせ子どもを育てる実感がもてる
- 【目指す児童・生徒像】 深く学び、深く考え、より良い生き方に向けて主体的に努力する 自分のよさを認めると共に正しいことは臆せず正しいと言える 基本的な生活習慣が身に付き心身共に健康 自ら考えそれを人と共有し深めていく力がある
- 【目指す教師像】 より良い教育活動について考え行動できる 生徒一人一人を慈しみよさを認め伸ばす 教員同士、地域、保護者と力を合わせることができる 成熟した社会人として生徒の範となる 心豊かな生活を送れるよう、余裕を持って仕事を計画的に進める

前年度までの学校経営上の成果と課題

読書を核とした学校経営を進め、校内に読書文化を築いていこうという取組は一定の成果をあげてきている。これを核とした取組によって確かな学力の定着・向上や豊かな人間性の涵養が図れるよう、取組の継続を図ると共に、これらの効果についての評価を的確に行い、一層の発展を図りたい。

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)		成果目標(評価基準)	
学力向上	全ての生徒が一定の学力を身に付けられる学校	生徒の視点に立った授業改善の推進	「週ごとの指導計画」の毎週の点検による評価	4	年間計画、週ごとの計画、推進プランの関連づけができています	4	全生徒の観点別評価のうち、「C」が5%以下
				3	上記のうち2点についての関連づけができています	3	同じく 「C」が7%以下
				2	上記3点の関連づけができていない部分もある	2	同じく 「C」が10%以下
				1	関連づけができていない	1	同じく 「C」が15%以下
	学年に応じた家庭学習習慣の定着	家庭学習のやり方や時間確保についての指導を進めると共に、家庭との情報共有を図る。	4	生徒・保護者各々に家庭学習への取組実施	4	生徒アンケート「家庭学習の時間が増えた」 90%以上	
			3	生徒・保護者各々に家庭学習への取組複数回実施	3	生徒アンケート「家庭学習の時間が増えた」 80%以上	
			2	生徒向けの家庭学習に向けた取組の実施	2	生徒アンケート「家庭学習の時間が増えた」 70%以上	
			1	特段の指導が行われていない	1	生徒アンケート「家庭学習の時間が増えた」 70%未満	
健全育成	いじめや不登校のない、生徒が心身共に健康な学校	いじめ防止に向けた指導の徹底	定期的な現状把握を行い、いじめの早期発見・早期対応を進めると共に、いじめを起こさない集団づくりを日頃から進める。	4	いじめ対策委員会での把握→解消3件以上	4	把握したいじめ案件の解消率100%
			3	いじめ対策委員会での把握→解消2件	3	把握したいじめ案件の解消率90%以上	
			2	いじめ対策委員会での把握→解消1件	2	把握したいじめ案件の解消率80%以上	
			1	いじめ対策委員会での把握→解消なし	1	把握したいじめ案件の解消率80%未満	
	道徳指導の充実	いじめ防止を核とした生徒の人権意識の涵養を図る道徳指導を、道徳科の授業を中心に実施していく。	4	道徳推進委員会による具体的改善策3つ以上提案	4	生徒アンケート「いじめのない集団で生活できている」 90%以上	
			3	道徳推進委員会による具体的改善策2つ提案	3	生徒アンケート「いじめのない集団で生活できている」 80%以上	
			2	道徳推進委員会による具体的改善策1つ提案	2	生徒アンケート「いじめのない集団で生活できている」 70%以上	
			1	道徳推進委員会による具体的改善策なし	1	生徒アンケート「いじめのない集団で生活できている」 70%未満	
特色ある学校づくり	読書に取り組む風土がある学校	学校図書館・公立図書館の活用を推進する。	授業における図書館の活用を進めることで、生徒の学校図書館利用を促進する。	4	読書活動推進委員会による授業提示4回以上	4	学校図書館・図書を活用した授業実施回数100回以上
			3	読書活動推進委員会による授業提示3回	3	学校図書館・図書を活用した授業実施回数80回以上	
			2	読書活動推進委員会による授業提示2回	2	学校図書館・図書を活用した授業実施回数60回以上	
			1	読書活動推進委員会による授業提示1回以下	1	学校図書館・図書を活用した授業実施回数60回未満	
	生徒の読書量の増加を図る。	学校図書館協力員、図書委員会、保護者ボランティアとの連携の下、生徒の読書量向上に向けた取組を進める。	4	読書活動推進委員会による読書量増加の取組4回以上	4	学校図書館の年間貸出冊数一人当たり10冊以上	
			3	読書活動推進委員会による読書量増加の取組3回	3	学校図書館の年間貸出冊数一人当たり8冊以上	
			2	読書活動推進委員会による読書量増加の取組2回	2	学校図書館の年間貸出冊数一人当たり6冊以上	
			1	読書活動推進委員会による読書量増加の取組1回以下	1	学校図書館の年間貸出冊数一人当たり6冊未満	
地域連携	地域から愛され、地域の力を活かし、連携を図れる学校	生徒が地域住民としての自覚を持ち、地域行事などのボランティア活動に積極的に関わるようにする。	地域行事やボランティア活動についての情報提供を的確に行うと共に、生徒会、ボランティア部の活動と関連づける。	4	地域行事やボランティアに関わる情報提供10回以上	4	地域行事やボランティア活動への参加者のべ100名以上
			3	地域行事やボランティアに関わる情報提供7回以上	3	地域行事やボランティア活動への参加者のべ80名以上	
			2	地域行事やボランティアに関わる情報提供4回以上	2	地域行事やボランティア活動への参加者のべ60名以上	
			1	地域行事やボランティアに関わる情報提供3回以下	1	地域行事やボランティア活動への参加者のべ60名未満	
	地域人材の力を活用した授業の増加を図る	保護者・地域人材の教育活動への積極的な働きかけを進める。	4	学校支援コーディネータによる人材紹介数のべ30件以上	4	放課後学習教室の参加人数前年比50%増	
			3	学校支援コーディネータによる人材紹介数のべ20件以上	3	放課後学習教室の参加人数前年比30%増	
			2	学校支援コーディネータによる人材紹介数のべ15件以上	2	放課後学習教室の参加人数前年比10%増	
			1	学校支援コーディネータによる人材紹介数のべ10件以下	1	放課後学習教室の参加人数前年比0%以下	
業務改善	教職員のライフワークバランスの確立を図る	教職員の超過勤務の減少を進める	月ごとの超過勤務の基準を作成し、実態把握に基づき基準内に収まるよう個別に面接・指導を実施する。	4	個別面接指導実施者 0名	4	月あたりの超過勤務時間48時間を上回る教職員0名
			3	同 1～5名	3	同 1～3名	
			2	同 6～10名	2	同 4～6名	
			1	同 11名以上	1	同 7名以上	